

奥山生態系保全の考え方

～人と自然の共生を目指して～

平成21年3月



天竺國之南有海濱曰天竺國其地多產金銀銅鐵等物

其地多產金銀銅鐵等物其地多產金銀銅鐵等物

奥山生態系保全の考え方
～人と自然の共生を目指して～

平成21年3月

愛知県環境部自然環境課
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6229

はじめに

奥三河を中心とした、都市から離れた豊かな森林が広がる地域は、愛知県の奥山です。この奥山には、様々な植生や地質、地形が分布しており、希少種を始めとした多様な動植物が生息生育し、本県の生物多様性を支える上での重要な地域です。しかしながら、近年では、林業採算性の悪化や山村の生活様式の変化などを背景として、手入不足により生物多様性の保全等の公益的機能の低下が懸念される森林が増加しています。

また、野生鳥獣の中にはニホンジカ等、過度な個体数増加や分布拡大に伴い、農林業被害や植生への影響が生じているものがあります。このため、農林業への被害対策のみならず生態系保全の観点からも個体数管理等の検討が必要になっています。

こうしたことから、本書では、愛知県奥山生態系保全検討会における検討を踏まえ、奥山を人と自然が共生し多様な生き物が生息生育できる場としていくことを目指し、奥山生態系の保全を図るための基本的な考え方についてまとめました。

本書を、奥山生態系に対する理解と認識を深め、その保全を図るための参考資料として活用いただければ幸いです。

平成 21 年 3 月

愛知県環境部

目次

第1章 経緯及び目的	1
第2章 奥山の現状	2
1 自然環境	2
(1) 地形・地質・土壌	2
(2) 河川	6
(3) 気候	7
(4) 植物	9
(5) 動物	11
2 地域ごとの生態系の特徴	13
3 社会環境	15
(1) 人口	15
(2) 林業	16
(3) 土地の利用規制	18
(4) レクリエーション利用状況	21
(5) 自然環境保全の取組	21
第3章 奥山生態系保全上の課題	22
1 森林の多面的機能の低下	22
(1) 自然林の孤立	22
(2) 二次林の質の低下	23
(3) 手入れ不足の人工林の増加	23
2 草地の減少	24
3 河川生態系の質の低下	24
4 ニホンジカ等の分布拡大による農林業及び植生への影響	26
5 外来種等による影響	29
6 工事等による野生動植物の生息生育地の縮小	29
7 地域の活力の低下	29
第4章 生態系保全上の課題に対処するための考え方	30
1 森林の持続可能な利用の推進	30
(1) 自然林の保全・管理	30
(2) 二次林の整備	30
ア 生物多様性を高める森林整備の推進	30
イ 病虫害対策の推進	31
(3) 人工林の整備	31
ア 林業生産活動を通じた人工林の整備	31

イ	生物多様性の豊かな森林への誘導	32
(4)	野生動植物の移動や交流の促進	32
(5)	林業・木材産業の振興	32
2	草地の維持・再生	33
3	河川生態系の保全・再生	34
4	ニホンジカ等の保護管理による農林業被害の防止及び植生の保護	35
(1)	個体数等の把握及び管理	35
(2)	植生保護対策の実施	35
5	外来種等の侵入・拡大の防止	36
6	地域特性を踏まえた生態系保全上の環境配慮	36
(1)	地域生態系の特性に即した野生動植物への環境配慮	36
(2)	生物多様性が高い地域への環境配慮	36
(3)	野生動植物種の生息生育適地への環境配慮	38
7	地域の活性化	38
第5章 奥山生態系の保全に向けて		39
資料編		
1	生態系区分・地域区分	41
2	環境カルテ	44
3	生物多様性ホットスポット	74
4	生息適地推定図	80
5	参考文献リスト	84